

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	平成28年度街中にぎわい創出事業(まちかど研究室)			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	大村市	産業振興部(新) 商工観光部(旧) 商工振興課	中村 惇耶(新) 堀口 一成(旧)	0957-53-4111(245)
事業期間	開始年	平成11年10月 日 (18年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[補助金]			
実施期間	(開始日) 28年 4月 1日 (完了日) 29年 3月 31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	大村商工会議所 市民 中央商店会		「市民と共に創るおおむら街づくり」をテーマに、市民が誇れる街づくり・街づくりのできる人づくり・賑わいのある街づくりを目指す。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局管理のもと、通常は市民のお休み処として利用していただくとともに、グループや個人によるイベントの開催や作品発表の場として一般開放する。 ・出前講座は、まちづくりや身近なテーマ等を題材とした講座を開催する。 ・定期的に音楽会「歌声サロン」を開催し、芸術文化振興に貢献する。 ・高齢者や障害者の作品を展示し、人に優しく賑わいある事業を実施する。 ・市及び商店会主催のイベントについては協力すると同時に、イベントに関連した独自事業を開催する。 ・高齢者の健康運動の拠点として、元気なお年寄りづくり(外出促進)に資する。 ・経営者向け「よろず相談」の会場として、地域経済の課題解決に資する。 ・教室やサークル活動等の利用を促進し、市民の利用を図る。 			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	大村市中央商店街は相次ぐ近隣への大型店の進出により通行量が減少するとともに、空き店舗が発生し、厳しい状況に立たされていた。このような中、商店街活性化にむけた事業として、物販のみならず商店街に多目的な機能を持たせ、市民に対する情報発信拠点としての街づくりを目指したものである。			
	(経緯・現状)			
	大学、市民、行政、商店会、商工会議所の5者が連携し、商店街の活性化を図る。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		2,514,269	1,000,000	1,000,000				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金	600,000						
	地方債							
	その他	914,269						
	市町振興共同事業助成金		500,000	500,000				
	一般財源	1,000,000	500,000	500,000				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	イベントの開催数	イベントを開催することにより市民の利用を促進する	回	目標	43	30	30
					実績	33	30	31
				目標達成率 (%)	77	100	101	
	②	まちかど研究室利用者数	市民の利用促進の結果として利用者数	人	目標	10,000	10,000	10,000
					実績	11,876	10,313	9,777
				目標達成率 (%)	119	103	98	

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 市民のお休み処としての利用、教室やサークル活動等の利用、経営者向け「よろず相談」の会場としての場を別に確保する必要がある。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		お休み処としての利用者の減少が要因。天候の影響とは言えない。しかし、教室やサークル活動等の利用が促進された。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 「歌声サロン」の開催や教室及びサークル活動等については <input type="checkbox"/> コミによる利用者の増が見込まれるが、その他についてもPR方法の検討をしたい。		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない			
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		市と商店会が費用負担しており、利用者からの利用料を費用に充当しているため妥当なものと判断する。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	休憩で立ち寄る人が減少したことを受け、市民のお休み処としての利用促進のために、畳スペースを撤去し、テーブルとイスのスペースに模様替えする。若い人を呼び込むため、図書スペースの図書内容を小説や専門書から子供向け絵本や漫画等に切り替える。入口にあった商店会の緊急放送装置を2階に移すことで圧迫感を解消し、湯茶セットを外から見える位置に配置し利用しやすさをアピールする。商店街や市内の古写真を展示するなど壁の展示に変化を持たせることにより、通行者に興味を持ってもらうように仕掛けをしていく。				